

問合せ

●子育て支援課 ☎72-3631

✉k-shien@city.ishikari.hokkaido.jp

●いしかりファミリー・サポート・センター
☎72-5552 (平日9:00~17:00)

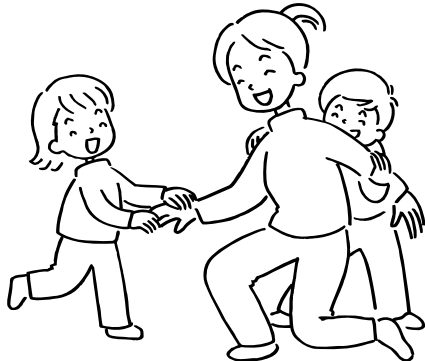
特集 まちぐるみで子育て

いしかりファミリー

子育て中のお母さんお父さんのお手伝いをしたい

ファミサポのサポート会員になった理由は？
どんな人たちがサポート会員なの？
ここでは、ファミサポを支える40人*のサポート
会員の声をご紹介します。

※平成19年12月末現在



経験を生かす

出産前には保育士、幼稚園教諭として働いて
いた方が参加されることも多く、中には夫婦とも
に有資格者で、「両方会員」にそろって登録し、
ファミサポを積極的に利用する一方で「お手伝
いしよう!」と頑張る方もいます。

あなたも
サポート会員に
なりませんか？



申込締切 2月8日(金)
申込・問合せ いしかり
ファミリー・サポート・
センター

定員 20人
託児 無料
費用 テキスト代2500円
場所 りんくる
時間 9時~12時

※このほか託児実習3時間があります
「援助活動にむけて」
① 3月7日(金)「産後ケア・赤ちゃんサ
ポート」② 子どもの健康状態の把握

③ 2月29日(金)「心の発達」④ 子どもの
栄養と食生活」
⑤ 2月29日(金)「障がいのある子ども」
「事故防止と応急処置」
⑥ 2月22日(金)「心の発達」⑦ 子どもの
「保育の心」⑧ 子どもの世話」

自分もお世話になったから

「子育て中はたくさんの人にお世話になった。
今度は自分が同じようにお手伝いしたい」と
いう方です。うれしい子育ての輪が広
がりつつあります。



子どもが大好きだから

最も多い参加理
由です。でも、これが
一番大切なことで
すよね。

社会の役に立ちたい

ファミサポには「両方会員」という、自分
も利用者でありながら、ほかの利用者の子
育ても応援するという方たちがいます。何ら
かの形で「社会とつながりたい」という思い
から始めた、という方が多いようです。



きちんと勉強したい

サポート会員は、原則として「サポート
講習会」(下記参照)を受講します。中
にはこの機会にしっかり勉強して、ファミ
サポ以外のボランティア活動にも生かし
たい、という方も。またファミサポ立ち上
げ前に視察したある市では、定年退職を
迎えたご主人と奥さまがそろって受講す
る姿もありました。家族でサポートでされ
ば本当に素晴らしいですね。

開催のお知らせ ファミサポ講習会

子どもを預かるサポート会員として
活動してみませんか？
興味のある方はぜひこの機会にご参
加ください。

対象 18歳以上の健康な方
日程・内容

① 2月15日(金)「石狩市の子育て支援」

② 2月22日(金)「心の発達」

③ 2月29日(金)「障がいのある子ども」

④ 3月7日(金)「産後ケア・赤ちゃんサ
ポート」

⑤ 2月29日(金)「心の発達」

⑥ 2月22日(金)「心の発達」

⑦ 2月29日(金)「障がいのある子ども」

⑧ 2月22日(金)「心の発達」

⑨ 2月29日(金)「障がいのある子ども」

⑩ 2月22日(金)「心の発達」

⑪ 2月29日(金)「障がいのある子ども」

⑫ 2月22日(金)「心の発達」

⑬ 2月29日(金)「障がいのある子ども」

⑭ 2月22日(金)「心の発達」

⑮ 2月29日(金)「障がいのある子ども」

⑯ 2月22日(金)「心の発達」

⑰ 2月29日(金)「障がいのある子ども」

⑱ 2月22日(金)「心の発達」

⑲ 2月29日(金)「障がいのある子ども」

⑳ 2月22日(金)「心の発達」

㉑ 2月29日(金)「障がいのある子ども」

㉒ 2月22日(金)「心の発達」

㉓ 2月29日(金)「障がいのある子ども」

㉔ 2月22日(金)「心の発達」

応援しています！

サポートセンター

「ちょっと子どもをみてほしい」「子どもを預かってサポートしてあげたい」。そんな「してほしい人」と「してあげたい人」をつなぐのがいしかりファミリー・サポート・センター（以下ファミサポ）です。今回は、そのファミサポが実際にどのように利用され、また、どんな人々に支えられているのかをご紹介します。6ページのファミサポ利用情報も併せてご覧ください。

赤ちゃんも一緒にママたちの交流の場

「市内に赤ちゃんを連れて行く場所がもっとあれば…」というお母さんたちの声から生まれたのが「ここひろば」（6ページ参照）です。昨年7月から週に一度、ファミサポ事務所のある市長公宅を開放。今ではファミサポ利用者同士の交流の場として貴重なスポットになっています。



習い事の送り迎え 休日の日のサポート

子どもの習い事や保育園への送り迎えを希望する方、また保育園や学校がお休みの日に子どもを預けるという利用者が増えています。また、お母さんが自宅で仕事をしていて、その間だけ子どもの面倒を見てもらう、などといった使い方も徐々に増えています。

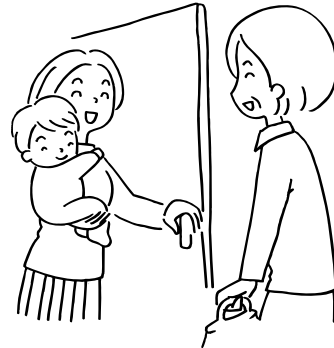
産後のリフレッシュに有効活用する

初めての子育てで24時間、緊張の毎日…。そんな方におすすめするのが生後6カ月までのお子さんを対象とした「ファミサポ無料利用券」です（6ページ参照）。利用者からは「久しぶりに美容室に行った!」「家で一人の時間を満喫できた」とうれしい声が寄せられています。自分のためにはなかなか託児を使えないという方にも、無料券だからこそ気兼ねなく使ってほしい—そんな思いから生まれたサービスです。



外出に際して子どもを預かってもらう

ファミサポ利用で最も多いのが「外出時の預かり」です。サポート会員に来てもらったり、逆に子どもをサポート会員宅に預けたり。また、



最近は市長公宅に預ける方も増えています。利用者は通院や急な用事で預けるお母さんが多いようです。

手助けしてくれる人がそばにいる安心感

実際にファミサポはどのように利用されているのでしょうか？ ここでは主な活用事例をご紹介します。

子どもが熱を出しても仕事は休めないとき

利用者がファミサポへの登録に際して最も気になるのが「病気の子どもは預かってもらえるの?」。ファミサポでは投薬はできませんが、もしものときに利用者と一緒に連絡がつくことを条件に、相談に応じる体制となっています。

子育てをみんなに 応援しませんか!

いしかりファミリー・サポート・センター長
三浦 ひとみ



札幌市立幼稚園に15年勤務した後、石狩市に転居して出産。その後、札幌の子育て支援ワークスで活動し、平成16年には石狩市を拠点とする子育て支援ワークス「ぼけっとママ」を設立、代表に。平成18年いしかり子ども総合支援会議委員を経て現職。家族は夫と中学生の男子1人。

ファミサポの登録会員は平成19年12月末現在で120人を超えました。これも若い人たちの間に「石狩には何かあれば手助けしてくれる人がそばにいる」という意識が浸透してきた証拠と、私たちは受け止めています。

ファミサポ立ち上げには、「お母さんの負担を少しでも減らしてあげたい」という願いがありました。

子育ては一人では本当に大変なこと。でも、だからといって特別なことではないはず。つまり、子育ては誰もがお手伝いできることだと、私は思います。

そのため、ファミサポを支えるサポート会員のハードルはできるだけ低くし、多くの方に参加してもらおうと考えました。保育士などの「有資格者」に限定もしませんし、年齢も性別も問いません。とにかく「子どもが好き」であれば、あとは一緒に勉強しましょう! というわけです。

一人でも多くファミサポの活動を理解してもらい、参加していただきたい。それが今、私から市民の皆さんに何よりお願いしたいことです。